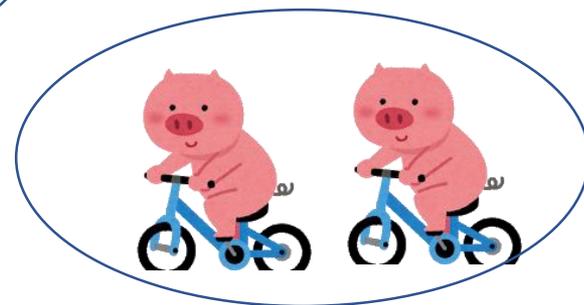
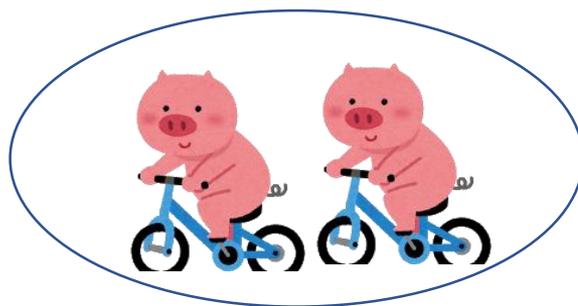
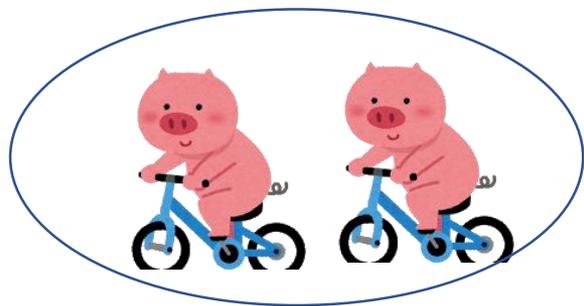


早く「かけ算」をしたい  
2年生へ  
～おうちの人といっしょに～



2年生になって、  
「早くかけ算を習いたい。」 「九九を覚えたい！」  
と思っている子も多いと思います。

もしかしたら、もう「九九」を覚えている子もいるかもしれません。

それはとてもいいことです。

でも、なぜ、九九を覚えるといいのか。  
そもそも、かけ算って何なのかを理解すると、もっと覚えたくなくなります。

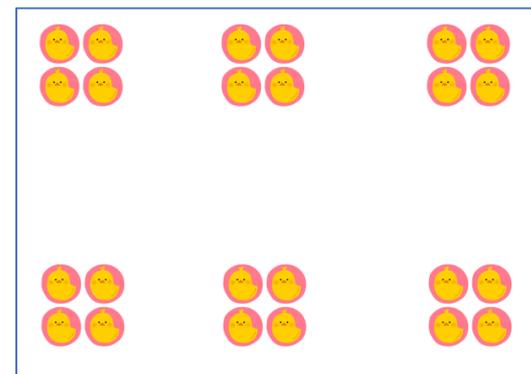
そんな2年生のため、2年生のお子さんをもつ保護者の皆様のためにこのスライドを作りました。

1年生の算数で大事なことの一つに、  
「10」という数の理解があります。  
「2と8で10」というような数の合成  
「10は、3と7」というような数の分解です。  
また、「10と4で14」というような10といくつなども  
大事な内容です。

2年生の算数で大事な数の見方として、  
「同じ数のいくつ分」というような見方があります。  
身の回りには、「10のまとまり」のもの他に、  
同じ数のいくつ分になって、並んでいるものも多くあります。

例えば、右の絵は

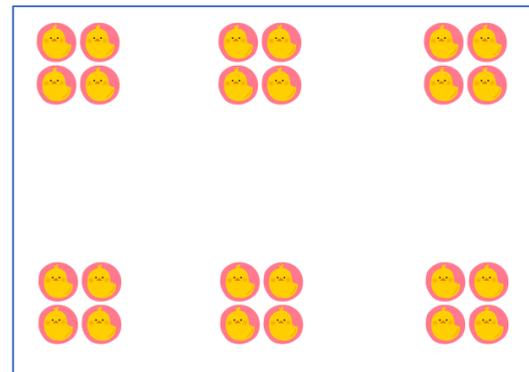
「4つのまとまりが6つ」あります。  
このこと式に表すと、「 $4 \times 6$ 」となり、  
「4かける6」というかけ算になります。



そして、

「このひよこは、全部で何匹？」  
という問題場面で、九九を覚えて  
いたら、一つ一つ数えずに、

「四六 二十四（しらくにじゅうし）」  
というように、すぐに答えを求めることができます。



だから、かけ算は便利で九九を覚える価値があります。

九九への第一歩として、ものの集まりを、

「いくつずつ（同じ数）のいくつ分」  
と見ることができるようになりましょう！

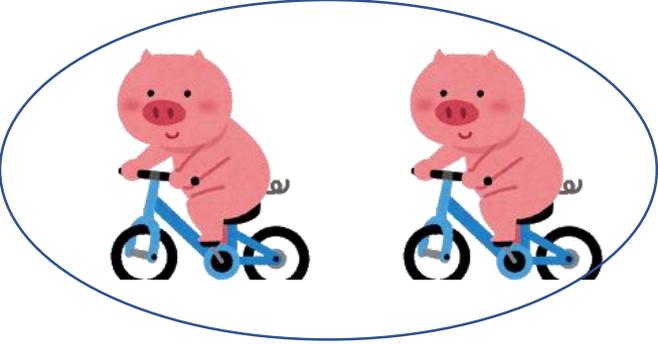
この次からのスライドは、動物が  
「いくつずつのいくつ分」で並んでいます。

まずは、「3つずつ、5つ分」と言えることが大事です。

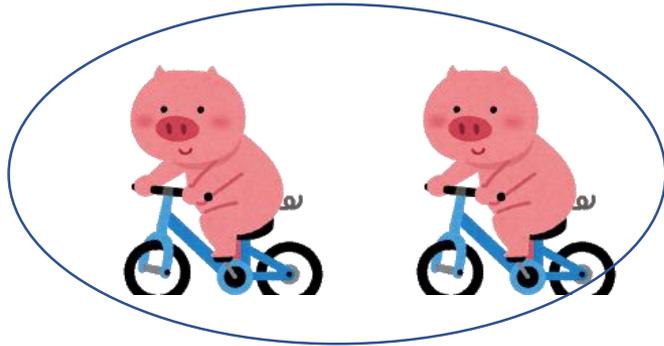
そして、次に、「3かける5」と言えるようにしましょう。

このように答えられたら、それは、かけ算の感覚が身についてきたと言えます。

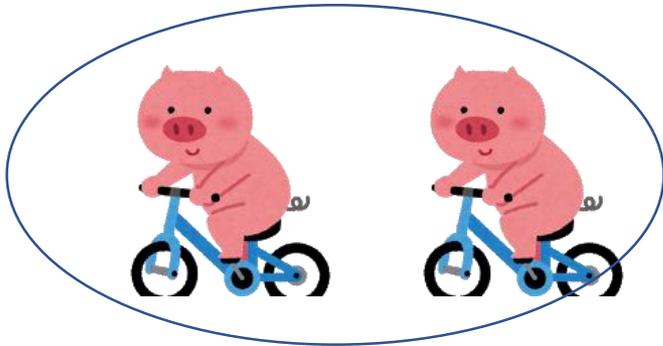
絵を見ながら、かけ算の感覚を付けましょう。



これは、  
「2 ずつの 3 つ分」



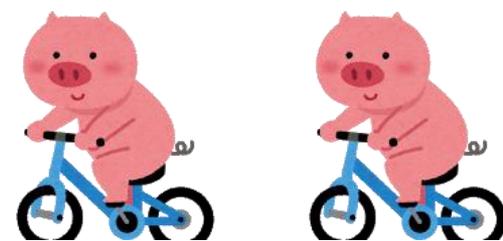
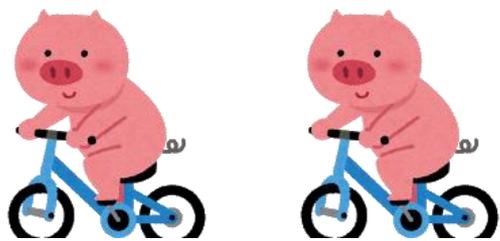
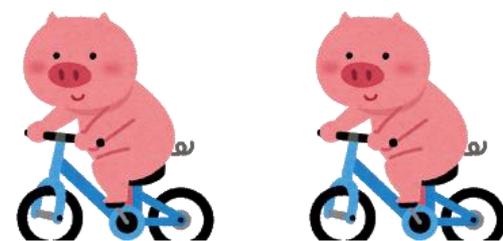
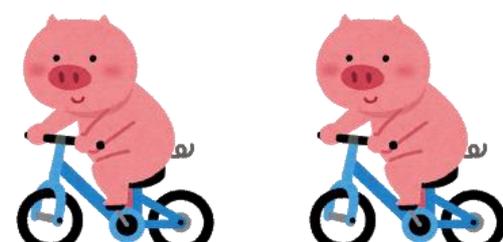
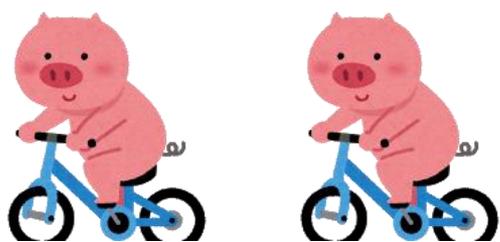
$2 \times 3$  ですね！



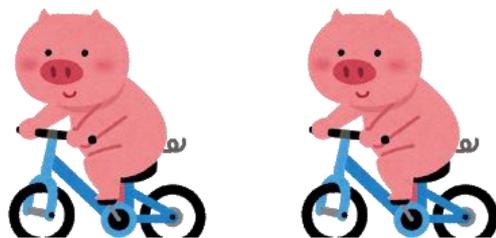




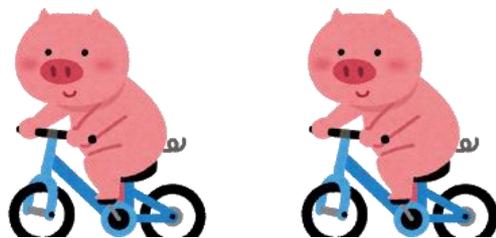




これは、  
「2ずつの9こ分」  
で「 $2 \times 9$ 」  
でもいいし、



「6ずつの3こ分」  
で「 $6 \times 3$ 」  
でもいいですね。

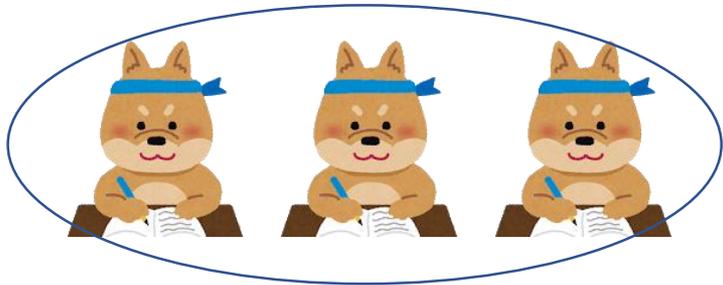


まとまりの  
作り方で  
しきかわる  
こともありますね。









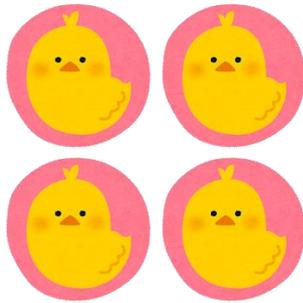
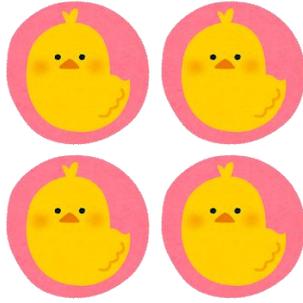


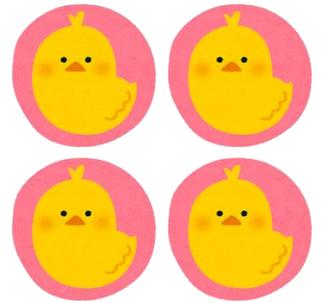


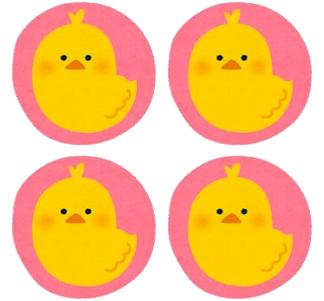
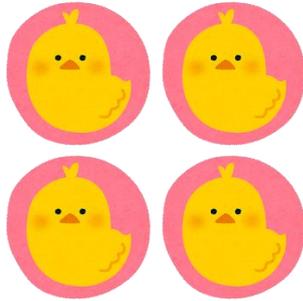
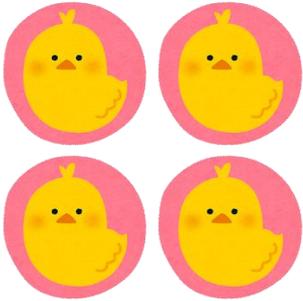
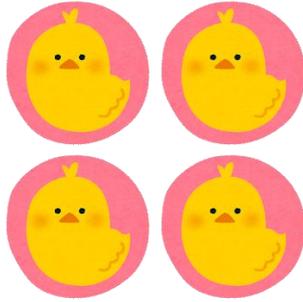
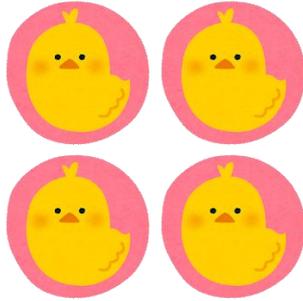


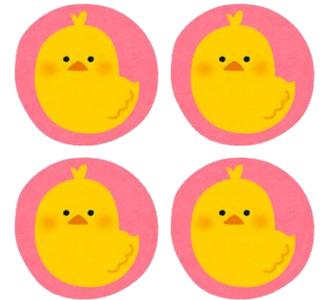
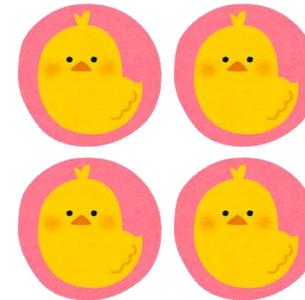
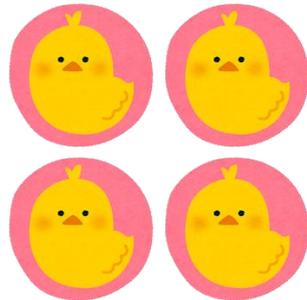
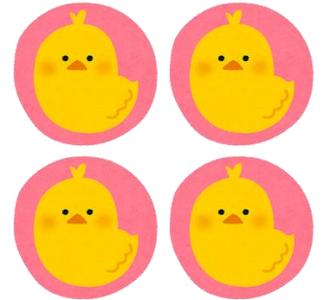
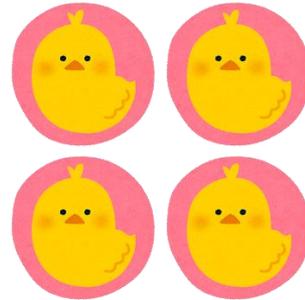
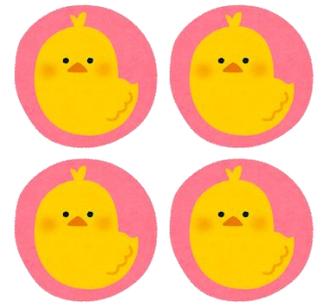
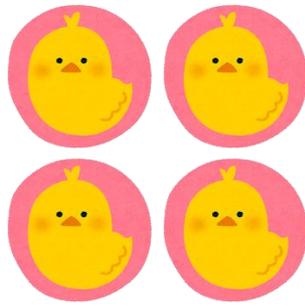
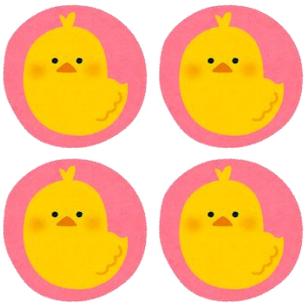


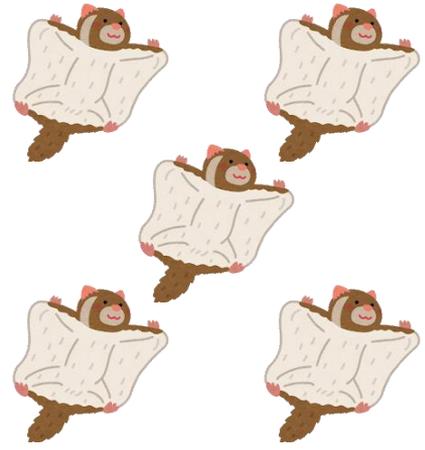
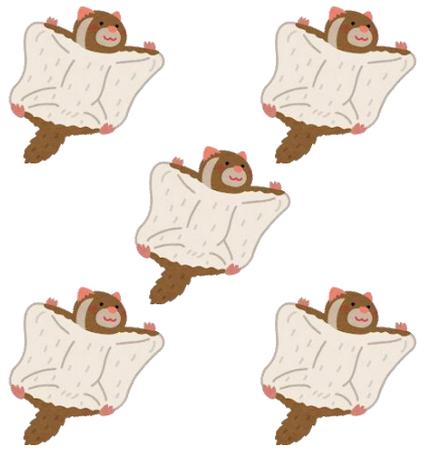
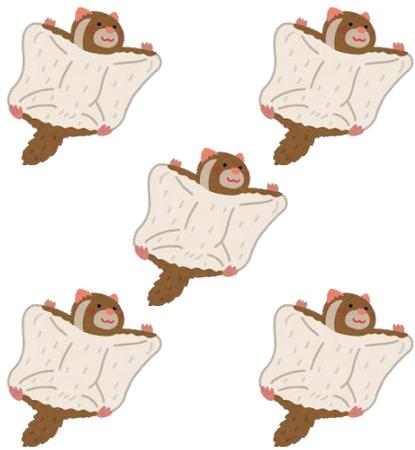
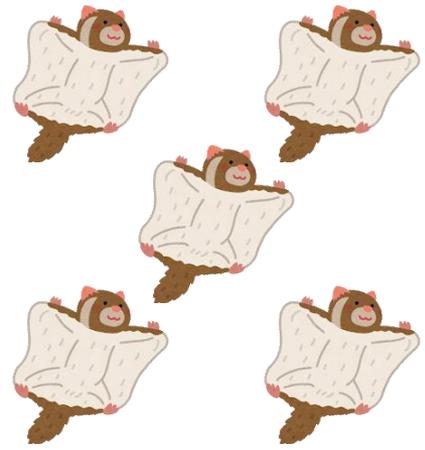
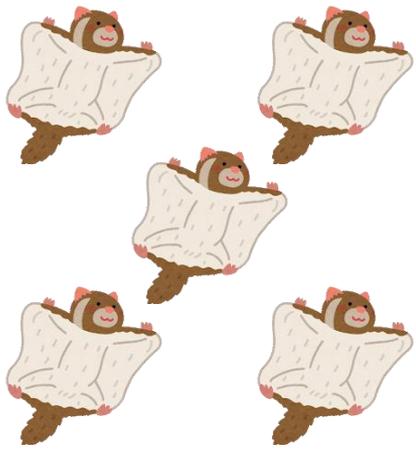


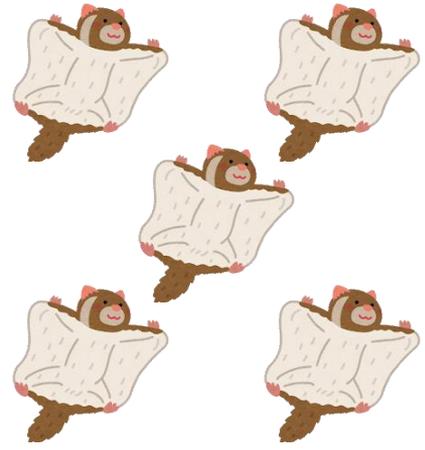
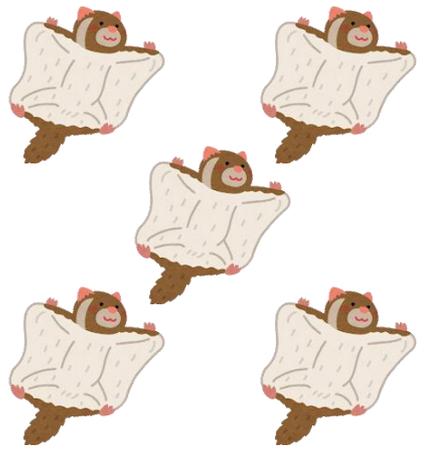
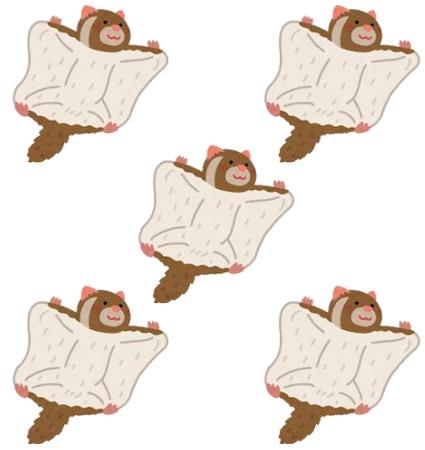
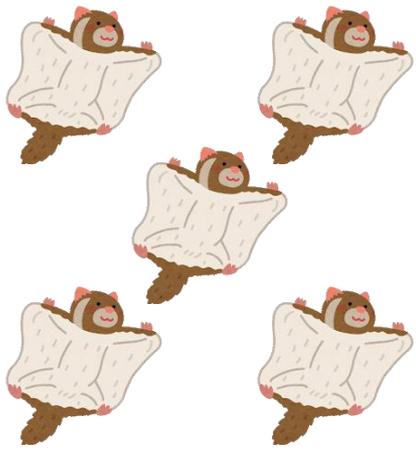


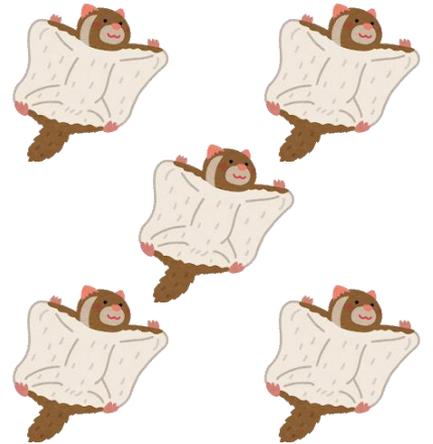
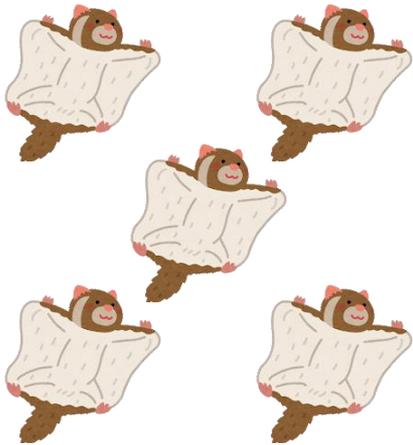
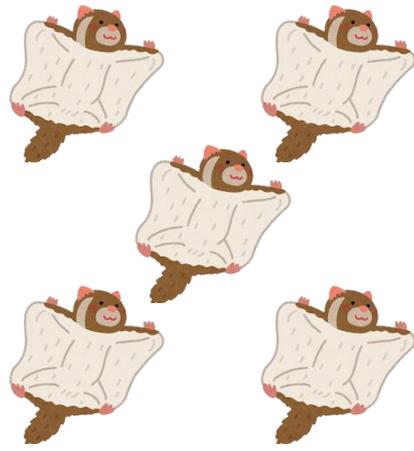


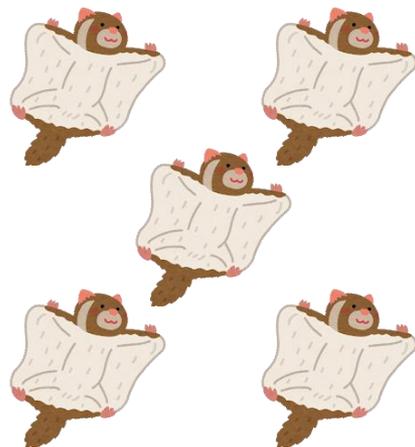
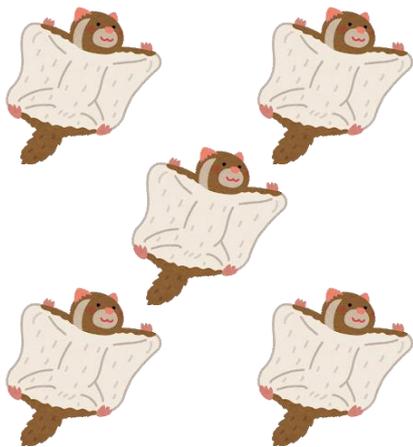


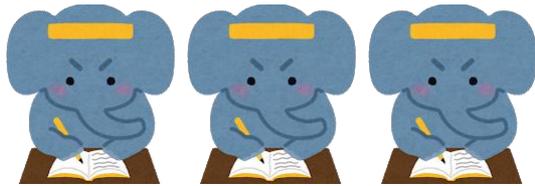
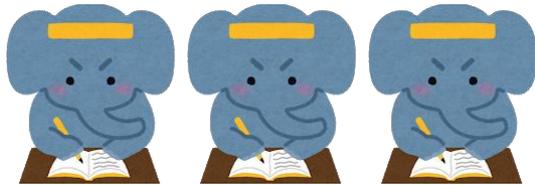


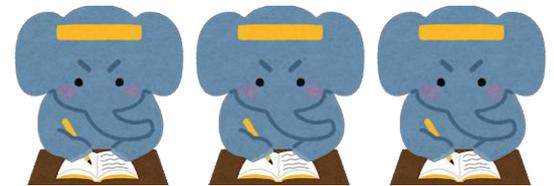
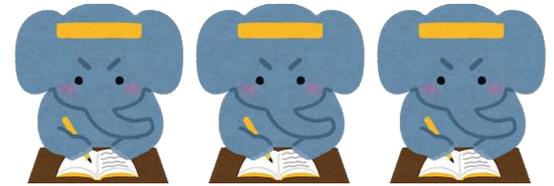
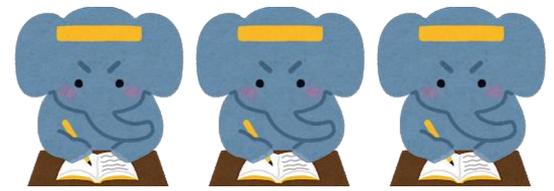
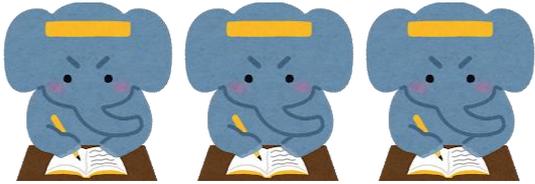
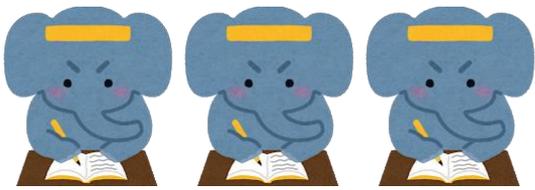


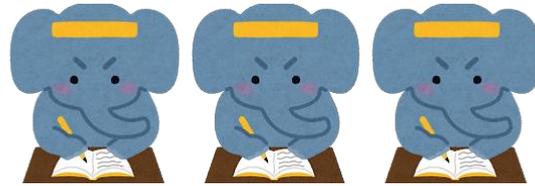
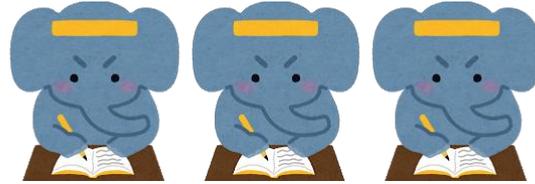
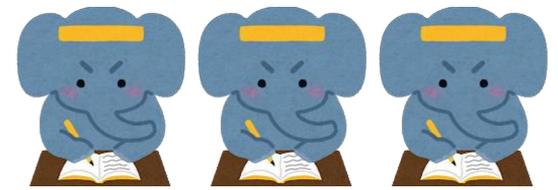
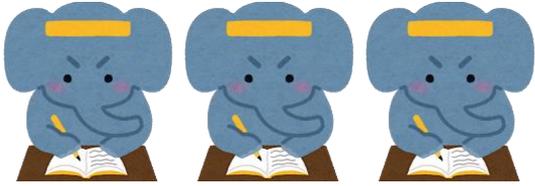












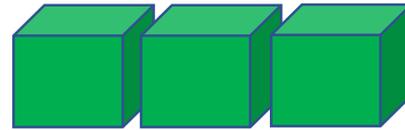
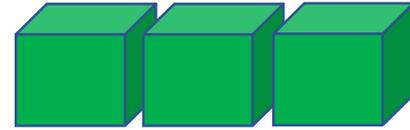
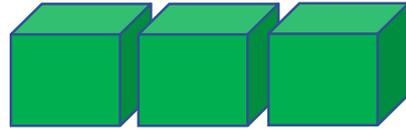
なれてきましたか？

では、つぎは、ブロック（つみ木）をじゅんび  
してください。

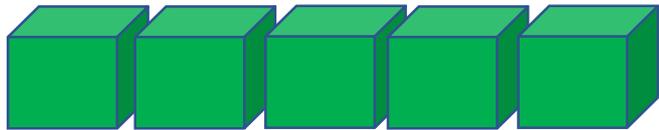
（同じものがたくさんあれば、カードでもなんでも  
かまいません。）

おうちの人に、かけ算のしきをいってもらい、  
そのしきのとおりブロックのまとまりを作ります。

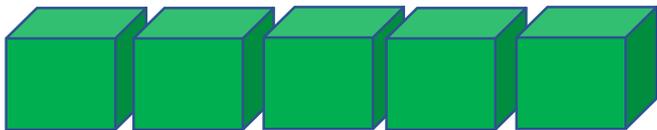
たとえば、「 $3 \times 5$ 」と言ってもらったら、



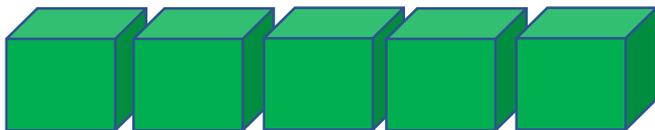
というようにならべます！



これは、 $5 \times 3$  ですね。

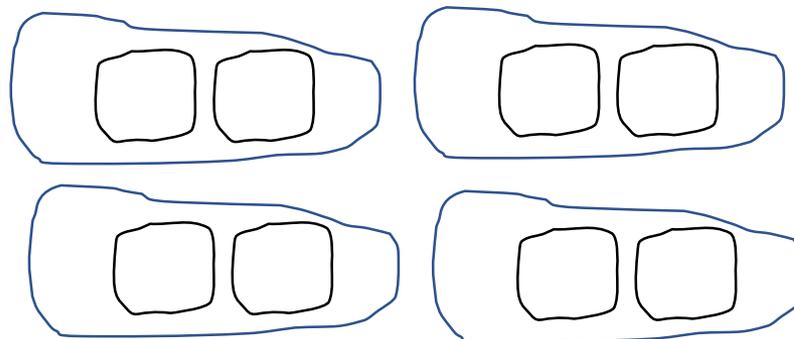


では、しきをいってもらい  
ましょう。



「図」でかくのもいいですね。

「 $2 \times 4$ 」は、



このようにかけます。

さて、かけ算になれてきたら、おうちの中を見まわして、かけ算さがしをしましょう。

きっと、「いくつずつのいくつ分」がみつかるはずです。



どんなしきになるかな？

九九をつかって、なんこかすぐにいえるかな？

「いくつずつのいくつ分」がぱっと分かって、それをかけ算のしきにあらわすことができたなら、もう、かけ算は半分できたことになります。

つぎは、がんばって九九をおぼえてなんこか、ぱっと言えるようになるといいですね。

また、みのまわりにかかけ算のばめんをこれからもみつけましょう。

この学習はここまでです。

# フラッシュカード

## おまけ

---

10より大きい数も出ます！











